

大分市医師ネットワーク会議 在宅医連携部会 第3回症例検討会

在宅医連携部会は、在宅医療を行う医師同士の連携を深めるため症例検討会を開催します。
ご多用中とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日時：1月29日（月）19時～20時15分

形式：Zoomミーティング

症例1 ALS患者の意思決定について

発表者：坂ノ市病院 管聡先生

座長：やまおか在宅クリニック 山岡憲夫先生

症例2 「在宅での老衰死～皆さんはどう考えていますか？～」

発表者：在宅支援クリニックすばる 姫野浩毅先生

座長：ヒカリノ診療所 平山匡史先生

右のQRコード、または下記にご記入の上FAXにてお申込みください。
後日、ミーティングIDとパスコードをお送りします。



FAX送信先：097-529-7872

医療機関名	
医師名	
E-mail	

第2回症例検討会 開催日:9月25日（月）Zoom開催/参加医師22名

症例1「食べなくなった認知症高齢者の“点滴”を施設側が希望した事例」

症例2「困った症例～キーパーソン不在、独居で介入を拒否する事例～」

参加者の声

- 病院の回復期リハビリテーション病棟で食べなくなった患者さんに点滴をしたり、胃瘻造設を勧めたりしている。。病院で何もしない選択肢は医療者としてとても辛い。それでも患者さんに本当に寄り添うのであればそうせざるを得ないのだろう。
- 普通のクリニックでは倫理委員会を開くことが無理だと思います。関わる多職種で十分検討し、他の先生からは発言があったようにきちんと記録することが今のところできる最善のことと思います。

【お問い合わせ先】大分市連合医師会 在宅医療部

大分市在宅医療・介護連携支援センター担当:太田・宮本 TEL:097-529-7851